

領 収 証 No 037972

菅原 達 様

領収金額 46,200-

上記の通り領収致しました

令和7年8月28日

収入  
印紙

取扱者



やじま株式会社  
〒327-0003 橋町1105  
6428(代)  
FAX (0283) 24-7247

すがわら通信第35号印刷一式代と17

領 収 書

令和7年12月22日

菅原 達 議員

金額  
(消費税込)

1,966円

令和7年度佐野市議会報告会費用分担金として、上記の金額を領収しました。  
(令和7年11月15日開催)

佐野市議会報告会運営委員会委員長 早川 貴光



## 命を守り全ての人を大切にする街へ！

市民相談等、お気軽にお声掛けください！

菅原 達

検索

ホームページ更新中



### 議 会 報 告

＜令和6年12月定例議会の一般質問の要旨＞

#### 質問 1 フェーズフリーの推進について

【質問の前おき】 多発する自然災害の危機や、進行し続ける気候変動の危機にどう適応していくのか？ 多くは、日常生活を優先し、不確実な未来への備えを後回しにしがちなのが現実です。ではなぜ「備える」ことが難しいのか？それは「備える」ことが日常において価値を発揮できないからです。そこで、日常時と非常時という2つのフェーズで分けることをやめ、日常における価値を高めつつ、非常時にもそれを活用することで、社会の脆弱性を小さくしていく考え方や取り組みがフェーズフリーです。

##### (1) 移動診療車の導入について

日常的にへき地医療を支え、災害時の避難所診療や、他の被災地域への医療支援にも活用できる移動診療車をフェーズフリーの取り組みとして導入を検討しては？



**答 弁** 診療所のあり方を検討する際にはフェーズフリーの考え方も配慮していきたい

##### (2) 屋内運動場（体育館）の断熱について

屋内運動場の断熱は、電気代の低減とCO2削減による環境負荷の軽減、空調機器の導入による平常時の運動環境並びに災害時の避難所としての環境の改善の効果が期待される。フェーズフリーの考えにより（空調機器導入を前提とした）断熱改修が望ましいのでは？

**答 弁** 屋内運動場の長寿命化と合わせて、一定の断熱性の確保のため、コストと断熱の効果を比較しつつ断熱改修の範囲や断熱方法を検討してまいりたい

##### (3) 社会保障のフェーズフリー化について

被災による困難な状況が災害に因るものだけでなく、高齢や要介護などの平常時の脆弱性にも因ることから、高齢者や障がい者の介護、生活困窮者の自立支援など、社会保障の担い手として働く人や組織が、非常時に被災者支援にも取り組むという「社会保障のフェーズフリー化」を目指すべきでは？

**答 弁** 今後は個別避難計画の作成を進める中で、ケアマネジャー等の福祉専門職の方との関係を構築し、フェーズフリーの考え方を共有していきたい



##### (4) 自主防災組織のフェーズフリー化について

平常時は一人暮らしの高齢者や、支援の必要な方々の見守りなど福祉面での活動を主とし、年に何回かは避難訓練を実施するなど、防災と福祉の要素を融合することで、災害時の顔の見える関係性や、蓄えられた地域の情報が防災に生かされるようにするものである。このような「自主防災組織のフェーズフリー化」を目指すべきと考えるが？

**答 弁** フェーズフリーの考え方とうまく組み合わせることで、地域や自主防災組織の防災力の向上に寄与するものとする

##### (5) フェーズフリーによるまちづくりについて

災害時に炊き出しのできる屋台を平常時にラーメン屋台などに活用し、屋台横丁としてまちなかの観光資源にするなど、フェーズフリーによるまちづくりを検討しては？

**答 弁** フェーズフリーが今までの概念を超えた行政の取組として必要であることから、各部各課がフェーズフリーによる概念を理解し、その取組がまちづくりにつながるよう、先進事例を参考に検討してまいりたい

#### 質問 2 児童発達支援の課題と改善について

##### (1) 利用日数について

子どもの状態によって、また、医師の助言が無くても、現場の状況判断により柔軟に利用日数を変更できることも含め、利用日数5日の壁を撤廃すべきと考えるが？



**答 弁** 一律5日ではなく障がい児の状況によって利用日数を決定しており、定期的なモニタリングや児童の状況の変化に応じた申請に基づき、利用日数の変更も行っている



##### (2) 医療的ケア児に対する訪問看護の必要性について

医療的ケアの必要な子どもであっても、園の中で普通の子と一緒に過ごす方がインクルーシブの観点からも大切である。医療的ケア児に対する訪問看護の必要性をどう考えるか？

**答 弁** 病状の変化なども早期に察知し対処できることから、療育や教育の現場において安全安心に医療的ケア児を受け入れていく上で必要なものと考えている

**質問 1 『国際防災拠点さの』整備方針の見直しについて**



**(1) フェーズフリーの概念に基づく見直しについて**

**①『国際防災拠点さの』整備方針における懸念事項について**

一般社団法人フェーズフリー協会代表理事、佐藤唯行氏の著書「フェーズフリー」の指摘によると、『医療や福祉、教育、経済対策など、他にも解決しなければならない目の前の課題が多数存在する中、いつ起こるか、何が起こるか分からない被害シナリオに対し際限なくリソース（資源）を注ぐ訳にはいかない。また防災は日常においてコストになってしまい、防災をビジネスとして成立させるのが難しい。さらに、企業である以上、目先の利益が拡大するわけではない活動に投資できるリソースには限りがあり、防災を社会貢献と捉えたとしてもそこには限界が生じてしまい、社会貢献としての防災だけで災害を解決するのは難しい』とされているが？

**答弁** まだ十分にご理解いただけていない部分もあるというふうには考えており、引き続き取組の周知を図ってまいります

《再質問①》リソースの確保に係る費用負担はどうなるのか？

《再質問②》これは企業側に負担をさせるという意味なのか？

《再質問③》平時からの備蓄品の確保（ローリングストック）の費用は全て市が持つのか？

**答弁** 可能な限り本市の過度な負担が発生しない運用を調整してまいります

**答弁** 災害を受けた市町村に負担をしていただくような運用も考えていきたい

**答弁** 現時点の調査においては、（企業に）費用負担を求めないことを前提としている

**意見**

全く決まっていない、言わば行き当たりばったりとしか受け止められません。しかも、相手方の、被災先の自治体にも負担を強いるとはこれまで聞いた記憶がありません。地域貢献、社会貢献、国際貢献などと仰っていた事業がこんなふうな構想の中でやっていることに驚いております。

**②フェーズフリーの概念に基づき、同整備方針の見直しについて伺う**

**答弁**

フェーズフリーの概念を踏まえて、平時から利用できる防災資機材の整備や平時からの企業等との連携体制の構築に取り組むことで、本市の防災力強化につながるものと認識をしている

**質問 2 こどもの生きづらさの解消について**

**(1) 多様な学び場と居場所等の充実について**



①生きづらさを抱える子供たちにとって“不登校”という選択肢にはどんな意味があると考えるか？

**答弁**

学校復帰が全ての最終目的ではなく、社会的な自立が学齢期にある子どもたちの最終目的であるので、不登校であるということが決してマイナスではないと考えている

②公的に箱物を用意し民間に様々な多様な運営を委託するなどフリースクールの公設民営化について伺う



**答弁**

多様な学び場を充実する観点で、公設民営の有効性など他市の事例などについて情報収集していきたい

**質問 3 動物愛護の活動推進について**

**(1) 猫の不妊手術費用などへの助成について**



助成制度の具体的内容について伺う

**答弁**

不妊手術については4,000円、去勢手術については3,000円の助成を考えている

**要望**

飼い主のいない猫が対象なので、金額は今後見直しをお願いする

**答弁**

助成制度の成果を検証し寄附受入れの方策等について検討してまいります

**(3) 災害時のペットの避難について**

**答弁**

市内58か所全ての避難所でペットと共に避難する同行避難は可能だが、建物内に連れ込む同伴避難は現在できない

**要望**

空き家を動物保護団体に無料または低家賃で貸し出す代わりに災害時のペットの避難所として使う仕組みを検討して頂きたい

**【決議案第3号】議案第32号令和7年度佐野市一般会計予算に対する附帯決議が可決されました！**

**決議**

国際防災拠点整備推進事業費について、以下の点を要請する。 《提出者：菅原達 賛成15 反対7で可決》  
本事業については、予算審査特別委員会の審査においても納得のできる合理的な説明がされず、何に対し、どれくらいの予算執行を見込んでいるのかが未だ不透明な事業であり、そのような事業に対し多額の予算を充てることには賛同できない。もっと現実的な政策への見直しが必要であり、少なくとも「国際」の枠組みを外した上で、地域防災力強化の為の事業に内容を見直すことを要請する。そのため、『国際防災拠点整備推進事業』の事業名を『防災拠点整備事業』に変更し、地域の実情に合った事業を推進していただきたい。

※附帯決議とは、議案を議決するにあたって、要望や留意事項を付すもの。これを付すことで当該予算に賛成した。